

# 大学・民間等の研究施設等廃棄物の 処理事業準備状況

平成28年4月8日

(公財)原子力バックエンド推進センター

# I. 平成27年度処理事業検討

## 1. 事業計画検討

工程、資金計画、先行事業、立地の検討

## 2. 設備検討

立地対応のための設備に係る説明資料の検討

## 3. 技術検討

放射能評価手法の検討

# 1. 事業計画検討

①廃棄物処理事業全体工程の検討

②資金計画の検討

- ・事業準備資金調達のための早期計画
- ・廃棄物発生者との契約形態

③先行事業の検討

- ・ウラン計測事業の収支シミュレーションと事業実現性

④立地検討

- ・地元説明用資料の検討と立地マニュアル(立地上の注意事項等)の検討

## 2. 設備検討

- ①立地に向けた地元説明用資料の準備
  - ・ 事業計画の概要
  - ・ 処理施設の主要仕様とプロセス概要
  - ・ 処理施設の外部環境との関係について  
物流インフラ、環境安全など
  
- ②地元説明資料に必要な諸データの整備
  - ・ 処理対象廃棄物と製造廃棄体の量
  - ・ 主要副資材、使用用役量
  - ・ 排水、排気量など

# 3. 技術検討

## 廃棄確認に向けた放射能評価

- ①研究炉:核種分析の補完のため、放射化計算の標準化  
→放射化量計算精度向上のための材料組成分析詳細計画及び計算結果検証のための核種分析概略計画の策定
- ②ホットラボ:代表核種の評価値から重要核種量を推定する手法の開発  
→搬入燃料の核種組成計算値と実廃棄物(単一燃料起因及び複数燃料起因)分析値の比較
- ③ウラン:簡易に精度よくウラン量評価ができる手法の実用化  
→ 模擬廃棄物を用いた計測 (NaI検出器)と誤差評価

## Ⅱ．平成28年度の計画

- 事業詳細計画の作成  
資金調達、工程、先行事業等
- 立地のための地元説明用資料の作成
- ドラム缶収納廃棄物中のウラン量評価の実証
- 研究炉廃棄物等の放射能評価手法の検討
- 立地に関わる検討